

- 問1 北海道にある札幌、室蘭、知床などの都市名や地形名の多くに共通する歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|--|--|
| 1. 先住民族であるアイヌ民族の言葉に、後から漢字を当てはめたものである。 | 2. 明治時代の開拓使が、欧米の植民地を参考にして英語風の響きを漢字にしたものである。 | 3. 縄文時代から続く日本の古語が、気候の影響で変化せずに残ったものである。 | 4. 江戸時代に本州から渡った商人たちが、故郷の地名をそのまま付けたものである。 |
|---------------------------------------|---|--|--|
- 問2 北海道の産業構造の特徴について、市町村別の就業者割合をまとめた資料によると、道東や道南の広い範囲を含め、多くの地域で共通して高い水準にある産業分類があります。商業や観光業、医療・福祉といったサービス業を含むこの産業分類として、正しい名称を選びなさい。 (2026年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------|------------------------|-------------------------|-----------------------|
| 1. 農林水産業を主体とする第一次産業 | 2. 商業やサービス業を主体とする第三次産業 | 3. 先端技術や情報通信を主体とする第四次産業 | 4. 製造業や建設業を主体とする第二次産業 |
|---------------------|------------------------|-------------------------|-----------------------|
- 問3 知床で行われている、自然環境の保全と観光利用の両立を目指す「エコツーリズム」の考え方に基づいた具体的な取り組みとして、不適切なものはどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 希少な植物を踏みつけないよう、散策路を限定したり木道を整備したりする。 | 2. 地域の自然に詳しいガイドが同行し、ルールを守りながら自然を深く理解してもらうツアーを実施する。 | 3. 自動車による排気ガスや騒音、渋滞を抑えるために、一部区間で車両の乗り入れを規制する。 | 4. 自然環境を保護しつつ、さらに多くの観光客を誘致するために、山頂まで通じる新しい高速道路を建設する。 |
|--|--|---|--|
- 問4 北海道北部の利尻島・礼文島において、地域の産業を持続させるために行われている取り組みの背景と内容として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 観光客の減少を食い止めるため、閉山した金山の坑道を再活用したテーマパークの建設が進んでいる。 | 2. 土壌の性質を改善することで、生産額が減少したサトウキビに代わる新たな特産品の開発が進んでいる。 | 3. 昆布の需要減少に対応するため、漁場をすべてレタスなどの大規模な野菜工場に転換する計画が進んでいる。 | 4. 高齢化による労働力不足を補うため、昆布養殖や漁業の技術を伝える後継者の育成・支援が行われている。 |
|---|--|--|---|
- 問5 北海道の東部に位置する太平洋沿岸の地域では、夏に「濃霧（海霧）」が発生し、日照不足などの影響を与えています。この現象が発生するメカニズムの説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 北西からの乾燥した季節風が、暖流である黒潮（日本海流）の上を通る際に温められるため。 | 2. 南東からの湿った季節風が、暖流である対馬海流の上を通る際に温められるため。 | 3. 南東からの湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）の上を通る際に冷やされるため。 | 4. 北西からの湿った季節風が、寒流であるリマン海流の上を通る際に冷やされるため。 |
|---|--|--|---|
- 問6 日本国内で最大の小麦収穫量を誇る北海道において、生産効率を高めるために展開されている農業経営の特色として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 山間部の傾斜地に作られた階段状の畑を利用し、手作業を中心とした緻密な農業が行われている | 2. 温暖な気候を利用して、同一の耕地で年に2回異なる作物を栽培する二毛作が行われている | 3. 1戸あたりの耕地面積が広く、大型機械を活用した大規模な土地利用型農業が行われている | 4. 大消費地に近い立地を活かし、限られた土地で付加価値の高い野菜を作る集約的な農業が行われている |
|--|--|--|---|
- 問7 2018年における日本の都道府県別小麦収穫量において、過半数を超える61.6パーセントを占め、全国1位となっている都道府県はどこですか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 新潟県 | 2. 佐賀県 | 3. 北海道 | 4. 福岡県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問8 北海道の工業において、食料品工業が製造品出荷額の約3割を占める最大の製造業部門となっている背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 広大な土地や豊かな海から得られる農水産資源が豊富であり、原材料の調達が可能であるため | 2. 電力供給が安定しており、大規模な電力を必要とする金属の精錬や基礎化学品の製造に向いているため | 3. 原材料を海外から輸入し、消費地である関東地方に近い港湾部で加工・輸送するのに適しているため | 4. 高度な技術力を持つ労働力が集中しており、自動車や精密機械などの組み立て工場が密集しているため |
|---|---|--|---|
- 問9 日本の地方別統計において、北海道地方は耕地面積が極めて広い一方で、農家数は他地方と比較してそれほど多くありません。この「農家数に対する耕地面積の割合が非常に高い」という状況が、北海道の農業経営にどのような影響を与えているか、正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 土地の生産性が低いため、農業を営む世帯が減少し、耕作放棄地が最も多くなっている | 2. 農家一戸あたりの土地が狭すぎるため、複数の農家が共同で土地を管理している | 3. 一戸あたりの作業範囲が広いいため、生産効率を高める機械化が不可欠となっている | 4. 労働力が余っているため、機械を使わずに手作業による丁寧な栽培が行われている |
|--|---|---|--|
- 問10 冬に降水量（降雪量）が多くなる北海道の日本海側の気候の特徴と、その発生理由について説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 冬に北西からの季節風が南西からの暖流の上を通る際に水蒸気を含み、山脈にぶつかるため | 2. 夏に南東からの季節風が南西からの寒流の上を通る際に冷却され、上昇気流が生じるため | 3. 夏に北西からの季節風が北東からの暖流の上を通る際に冷却され、上昇気流が生じるため | 4. 冬に南東からの季節風が北東からの寒流の上を通る際に水蒸気を含み、山脈にぶつかるため |
|--|---|---|--|
- 問11 北海道の気候的特色を活かした産業と、それに伴う人口の動きについて述べた文として、正しいものを選んでください。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 年間を通して温暖で湿潤な気候であるため、特定の時期に労働者が増減することなく、外国人人口は常に一定である。 | 2. 冬の降雪と夏の涼しい気候が観光資源となり、季節によって外国人人口の割合が大きく変動する要因となっている。 | 3. 梅雨の影響を強く受ける夏の気候を利用した稲作が盛んであり、その収穫期である秋にのみ外国人人口が急増する。 | 4. 冬の降雪が少ないため、一年中安定して工場を稼働させることができ、工業に従事する外国人人口が年間を通して安定している。 |
|--|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 先住民族であるアイヌ民族の言葉に、後から漢字を当てはめたものである。	北海道の地名の約8割がアイヌ語に由来するとされています。先住民であるアイヌ民族は、文字を持たない代わりに地形や資源の特徴を詳細な言葉で呼び合っていました。明治時代以降の開拓の過程で、それらの呼び名に日本語の漢字が当てはめられたため、独特の読み方を持つ地名が各地に定着することとなりました。
問2	答え 2 商業やサービス業を主体とする第三次産業	北海道は大規模な農業が盛んなイメージがありますが、実際の就業者数の構成比を見ると、他の都府県と同様に商業や観光業、サービス業などの第三次産業に従事する人の割合が最も高くなっています。特に道東や道南などの地域においても、豊かな自然資源を活かした観光業や、地域住民の生活を支えるサービス業が産業の主体的存在となっているため、広い範囲でこの割合が高くなっています。
問3	答え 4 自然環境を保護しつつ、さらに多くの観光客を誘致するために、山頂まで通じる新しい高速道路を建設する。	エコツーリズムとは、地域の自然や文化の価値を伝え、その保全に責任を持ちながら観光を行う仕組みです。知床では、過去に道路の開通が自然環境への負荷を増大させた経緯があるため、新たな大規模な道路建設などの開発は、環境保全と観光の両立という方針に反します。
問4	答え 4 高齢化による労働力不足を補うため、昆布養殖や漁業の技術を伝える後継者の育成・支援が行われている。	利尻・礼文の両島では、高品質な昆布養殖や漁業が主要な産業ですが、全国の離島と同様に人口減少と高齢化が深刻な課題となっています。そのため、地域の伝統的な生業と「利尻昆布」のブランドを守ることを目的として、移住者の受け入れや若手漁業者の技術習得をサポートする後継者育成支援に力が入れています。地理的条件や自然環境を活かした産業構造を維持するための重要な施策です。
問5	答え 3 南東からの湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）の上を通る際に冷やされるため。	日本の夏は、小笠原気団から湿った南東の季節風が吹き込みます。この風が、北海道の東の海域を流れる寒流（冷たい海流）である親潮（千島海流）の上を通る際、海面に冷やされて空気中の水蒸気が水滴に変わることで濃霧が発生します。この霧は日照時間を減少させ、気温の上昇を妨げる要因となります。
問6	答え 3 1戸あたりの耕地面積が広く、大型機械を活用した大規模な土地利用型農業が行われている	北海道の農業は、他都府県と比較して農家1戸あたりの経営面積が非常に大きいことが最大の特徴です。特に小麦や大豆、てんさいなどの畑作においては、トラクターなどの大型農業機械を導入した「土地利用型農業」を行うことで、少ない労働力で広大な面積を管理し、高い生産性を実現しています。これにより、国内の小麦需要を支える重要な供給源となっています。
問7	答え 3 北海道	日本の小麦生産は、広大な土地を活かした大規模な農業が行われている地域に集中しています。統計上、全国の収穫量の6割以上を占める北海道が圧倒的な1位であり、それに次いで九州地方の福岡県や佐賀県が上位に位置しています。主食である米と比較して、小麦はより広大な面積を必要とする土地利用型農業としての側面が強いいため、北海道が主要な産地となっています。
問8	答え 1 広大な土地や豊かな海から得られる農水産資源が豊富であり、原材料の調達が容易であるため	工業の立地はその地域の資源と深く関わっています。北海道はジャガイモやテンサイ、乳製品などの農産物、および沿岸・沖合で獲れる水産物が豊富です。これらを腐敗させずに効率よく加工するために、産地に近い場所で食料品工業が発達しました。その結果、全国平均と比較しても食料品工業への依存度が非常に高い産業構造となっています。
問9	答え 3 一戸あたりの作業範囲が広いため、生産効率を高める機械化が不可欠となっている	農家数に対して耕地面積が広大であるということは、農家一戸が管理しなければならない面積が非常に大きいことを意味します。人の手による作業だけではこの広大な土地をカバーできないため、大型機械を活用した大規模経営を行うことで、一戸あたりの生産性を高める工夫がなされています。これが、北海道が日本最大の食料供給基地と呼ばれる理由の一つです。
問10	答え 1 冬に北西からの季節風が南西からの暖流の上を通る際に水蒸気を含み、山脈にぶつかるため	北海道の日本海側では、冬になるとユーラシア大陸から吹く冷たい季節風が、南西から流れる暖流の上を通ることで大量の水蒸気を補給します。この湿った空気が山脈にぶつかって上昇することで、日本海側に多くの雪をもたらします。
問11	答え 2 冬の降雪と夏の涼しい気候が観光資源となり、季節によって外国人人口の割合が大きく変動する要因となっている。	北海道は梅雨の影響をほとんど受けず、夏は涼しく冬は雪が多いという気候の特色があります。この特色を活かした観光業や農業が発展しており、特に占冠村や二セコ町のような国際的なリゾート地では、冬のスキーシーズンや夏の避暑シーズンに外国人労働者が増加します。このように、その土地の自然環境や気候が、産業構造や地域住民の構成に大きな影響を与えています。

- 問1 北海道の札幌（日本海側）と根室（太平洋側）の気候を比較したとき、根室で夏の気温があまり上がらず、札幌で冬の降水量が多くなる理由の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2026年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 根室は夏に暖流と偏西風の影響を受け、札幌は冬に寒流と偏西風の影響を受けるから | 2. 根室は冬に暖流と季節風の影響を受け、札幌は夏に寒流と季節風の影響を受けるから | 3. 根室は夏に寒流と季節風の影響を受け、札幌は冬に暖流と季節風の影響を受けるから | 4. 根室は冬に寒流と偏西風の影響を受け、札幌は夏に暖流と偏西風の影響を受けるから |
|---|---|---|---|
- 問2 札幌市中心部を描いた2万5千分の1の地形図において、JR札幌駅から札幌市役所（地点B）までの図上の長さを測定したところ、ちょうど3cmであった。このとき、これら2地点間の実際の距離として適切なものはどれか。（2021年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 1000m | 2. 500m | 3. 250m | 4. 750m |
|----------|---------|---------|---------|
- 問3 北海道の地理的特徴や自然環境について述べた次の文のうち、知床半島に関連する記述として正しいものはどれか。（2017年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 亜熱帯の気候に属し、独自の進化を遂げた固有種が多く生息することから、小笠原諸島とともに世界自然遺産に選ばれている。 | 2. 親潮（寒流）の影響を強く受けるため、夏季には季節風が温められて上昇し、年間を通して降水量が非常に多い地域である。 | 3. 世界自然遺産に登録されており、海と陸の生態系のつながりが保たれているほか、周辺にはラムサール条約登録湿原もみられる。 | 4. 流氷が接岸する北限の地として知られ、広大な泥炭地が広がることから、全域が世界文化遺産に登録されている。 |
|--|---|---|--|
- 問4 地形図における縮尺の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれか。なお、札幌市の北海道大学植物園から南東方向に位置する市役所（地点B）までの実際の距離を1km（1000m）とした場合を想定して答えなさい。（2021年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------|------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 5万分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。 | 2. 5万分の1の地形図では、図上の長さは5cmになる。 | 3. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。 | 4. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは2cmになる。 |
|------------------------------|------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
- 問5 北海道の産業構造の特徴について、市町村別の就業者割合をまとめた資料によると、道東や道南の広い範囲を含め、多くの地域で共通して高い水準にある産業分類があります。商業や観光業、医療・福祉といったサービス業を含むこの産業分類として、正しい名称を選びなさい。（2026年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------|-------------------------|------------------------|---------------------|
| 1. 製造業や建設業を主体とする第二次産業 | 2. 先端技術や情報通信を主体とする第四次産業 | 3. 商業やサービス業を主体とする第三次産業 | 4. 農林水産業を主体とする第一次産業 |
|-----------------------|-------------------------|------------------------|---------------------|
- 問6 北海道の酪農において、近年の統計で見られる「飼育戸数が減少しているにもかかわらず、全体の生乳生産量が増加している」という現象の背景にある、生産体制の工夫を説明する用語の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|--------------|
| 1. 施設園芸農業と有機栽培 | 2. 地産地消と手作業の重視 | 3. 経営規模の拡大と機械化 | 4. 減反政策と多角経営 |
|----------------|----------------|----------------|--------------|
- 問7 北海道のオホーツク海沿岸で見られる流氷について、近年の地域社会における役割や特徴を説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。（2021年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 地熱発電のエネルギー源として利用され、周辺地域の電力をすべてまかなっている。 | 2. 冬の時期に観光用の砕氷船が運行されるなど、地域の貴重な自然観光資源となっている。 | 3. 大規模な稲作を行うための水資源として、春先の用水路に直接引き込まれている。 | 4. 流氷の移動を妨げないように、沿岸部では一切の漁港建設が禁止されている。 |
|---|---|--|--|
- 問8 北海道の地形や都市の配置について説明した次の文章のうち、地理的状況を正しく説明しているものはどれですか。（2016年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 道北の稚内市から海岸線沿いに南東方向へ進むと、オホーツク海に面した網走市に到達する。 | 2. 日本海に面した網走市では、冬にカリブ海から流れてくる流氷を観察することができる。 | 3. 道南の志苔館跡や洞爺湖がある地域は、主にオホーツク海の影響を強く受けている。 | 4. 内陸盆地に位置する旭川市から西へ進むと、オホーツク海に面した小樽市の港が見える。 |
|---|---|---|---|
- 問9 北海道の都市である根室市と札幌市の気象統計を比較すると、夏季（特に6月から8月にかけて）の根室市の日照時間は札幌市よりも著しく短いことがわかります。この要因となっている気象現象を何といいますか。（2019年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|-------|---------------|-----------|
| 1. やませ | 2. 海霧 | 3. ヒートアイランド現象 | 4. フェーン現象 |
|--------|-------|---------------|-----------|
- 問10 北海道における人口分布の変化について、1950年から2010年までの統計的な傾向を説明した文として正しいものはどれですか。なお、この期間において北海道全体の人口は約430万人から約551万人へ、札幌市の人口は約62万人（1960年）から約191万人へと推移しています。（2016年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 北海道全体の人口増加に比例して、道内すべての市町村の人口が均等に3倍以上になった。 | 2. 札幌市の人口は1960年から2010年にかけて、北海道全体の人口増加分を補えないほど減少した。 | 3. 北海道全体の人口が緩やかに増加する中で、札幌市の人口はそれを大きく上回るペースで増加した。 | 4. 道内人口に占める札幌市の割合は、1960年から2010年にかけて一貫して減少傾向にある。 |
|--|--|--|---|
- 問11 北海道の農業経営に関する二〇〇五年から二〇二〇年の推移について、統計的な事実として正しい説明はどれですか。なお、この期間において農業経営体の総数は減少しており、経営耕地面積の合計は約百七万ヘクタールから約百三万ヘクタールへと微減しています。（2024年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|---|---|
| 1. 農業経営体と団体経営の数がともに増加したため、耕地の奪い合いが起きた | 2. 団体経営の割合が低下したため、一経営体あたりの経営耕地面積は縮小した | 3. 農業経営体の総数は減少したが、団体経営の数は増加し、経営の集約化が進んだ | 4. 経営耕地面積が微減した主な原因は、団体経営の数が大幅に減少したことにある |
|---------------------------------------|---------------------------------------|---|---|
- 問12 北海道東部に位置し、広大な土地を活かしてジャガイモ、小麦、てんさい（ビート）、豆類などを大規模に生産している、日本を代表する畑作地帯の名称を選びなさい。（2024年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 根釧台地 | 2. 十勝平野 | 3. 石狩平野 | 4. 庄内平野 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問13 日本の人口約1億2700万人に対し農業従事者が約340万人（約2.6%）である統計と、北海道の人口約538万人に対し農業従事者が10.4万人（約1.9%）である統計を比較したとき、北海道の人口に対する農業従事者の割合に関する説明として正しいものはどれですか。（2021年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 人口規模に比例して、農業従事者の割合は全国平均と一致している | 2. 全人口に対する農業従事者の割合は、全国平均を上回っている | 3. 全人口に対する農業従事者の割合は、全国平均を下回っている | 4. 大規模農業が盛んなため、人口に対する農業従事者の割合は全国で最も高い |
|-----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 根室は夏に寒流と季節風の影響を受け、札幌は冬に暖流と季節風の影響を受けるから	太平洋側の根室は、夏に千島海流などの寒流と南東からの季節風の影響で気温が低く抑えられます。一方、日本海側の札幌は、冬に対馬海流などの暖流の上を通る北西の季節風の影響を受けるため、降雪量が多くなります。
問2	答え 4 750m	2万5千分の1の地形図では、実際の距離を25,000分の1に縮小して描いている。そのため、図上の1cmは実寸で25,000cm（250m）に相当する。図上の長さが3cmである場合、250mを3倍した750mが実際の距離となる。単位をセンチメートルからメートルへ換算する計算過程を正確に行うことが重要である。
問3	答え 3 世界自然遺産に登録されており、海と陸の生態系のつながりが保たれているほか、周辺にはラムサール条約登録湿原もみられる。	知床は、流水が運ぶ栄養分による海洋生態系と、それを糧にするヒグマやシマフクロウなどの陸上生態系が密接に関わっている点が評価され、世界自然遺産となりました。選択肢にある「季節風が温められて」という記述は、親潮が寒流であることを考えると誤りです。また、小笠原諸島は「東洋のガラパゴス」と称されますが、知床とは気候帯も登録理由も異なります。
問4	答え 3 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。	実際の距離が1km（100,000cm）の場合、2万5千分の1の地形図では、100,000を25,000で割った4cmとして表現される。一方で、5万分の1の地形図では、100,000を50,000で割った2cmとなる。縮尺の分母が大きくなるほど、同じ実際の距離は図上でより短く表示されるという因果関係を理解しておく必要がある。
問5	答え 3 商業やサービス業を主体とする第三次産業	北海道は大規模な農業が盛んなイメージがありますが、実際の就業者数の構成比を見ると、他の都府県と同様に商業や観光業、サービス業などの第三次産業に従事する人の割合が最も高くなっています。特に道東や道南などの地域においても、豊かな自然資源を活かした観光業や、地域住民の生活を支えるサービス業が産業の主力的存在となっているため、広い範囲でこの割合が高くなっています。
問6	答え 3 経営規模の拡大と機械化	酪農家1戸あたりの飼育頭数を増やして効率を上げる「経営規模の拡大」と、搾乳ロボットなどの導入による「機械化」が組み合わせることで、労働負担を軽減しながら高い生産性を確保しています。統計上でも、100頭以上の大規模な飼育戸数の増加や、搾乳ロボットの普及率の劇的な上昇にその傾向が表れています。
問7	答え 2 冬の時期に観光用の砕氷船が運行されるなど、地域の貴重な自然観光資源となっている。	流氷はかつて船舶の航行や漁業を妨げるものとして捉えられる側面もありましたが、現在では網走市や紋別市などで観光用の砕氷船が運行されるなど、冬の北海道を象徴する重要な観光資源として位置づけられています。農用水としての利用や地熱発電とは関係がなく、自然環境との共生を図りながら地域経済に貢献しています。
問8	答え 1 道北の稚内市から海岸線沿いに南東方向へ進むと、オホーツク海に面した網走市に到達する。	北海道の北端にある稚内市は日本海とオホーツク海の境界に位置しており、そこから東側の海岸線を下ると網走市があるオホーツク海沿岸に至ります。旭川市は内陸の盆地に位置し、その西側にある小樽市が面しているのは日本海です。また、流氷が押し寄せるのは北海道の北東に位置するオホーツク海であり、カリブ海や東シナ海はこの地域には存在しません。
問9	答え 2 海霧	北海道の太平洋側に位置する根室市や釧路市では、夏に発生する「海霧（移流霧）」の影響を強く受けます。暖かく湿った空気が親潮の冷たい海面によって冷やされて発生するこの霧は、長い時には数日間にわたって沿岸部を覆うことがあり、夏場の日照時間を大幅に減少させる直接的な原因となっています。一方、内陸や日本海側に位置する札幌市などはその影響を受けにくいいため、日照時間に大きな差が生じます。
問10	答え 3 北海道全体の人口が緩やかに増加する中で、札幌市の人口はそれを大きく上回るペースで増加した。	数値データを確認すると、北海道全体では約1.3倍の緩やかな増加であるのに対し、札幌市は50年間で3倍以上に達しています。札幌市という一つの都市が、道全体の人口成長を牽引すると同時に、道内の他の地域から人口を吸収する形で拡大を続けてきたことが読み取れます。これが道内における人口集中の実態です。
問11	答え 3 農業経営体の総数は減少したが、団体経営の数は増加し、経営の集約化が進んだ	二〇〇五年から二〇二〇年にかけて、農業経営体数は五百四十七から三百四十九へと減少していますが、団体経営は三十五から四十三へと増加し、その割合は約十二パーセントに達しています。全体の耕地面積に大きな変化がない中で経営体数が減っている事実は、一経営体あたりの規模が拡大し、農業経営が特定の経営体に集約・大規模化されていることを裏付けています。
問12	答え 2 十勝平野	北海道の東部に広がる十勝平野は、1戸あたりの耕地面積が極めて広く、大型機械を活用した大規模な畑作が行われている地域です。選択肢にある石狩平野は稲作、根釧台地は酪農が盛んな地域であり、それぞれの土地利用の特色を区別することが重要です。
問13	答え 3 全人口に対する農業従事者の割合は、全国平均を下回っている	北海道は日本最大の食料供給基地であり、広大な耕地面積を有していますが、全人口に対する農業従事者の割合は約1.9%であり、全国平均の約2.6%を下回っています。これは、札幌市などの都市部に人口が集中していることや、1戸あたりの経営面積が大きく、機械化によって少ない人数で効率的な生産が行われていることが要因として挙げられます。

- 問1 北海道の工業は、広大な農地で生産された農産物や、豊かな海でとれた水産物を原料とする分野が盛んです。2010年の製造品出荷額の内訳において、金属工業（13.9%）や化学工業（21.1%）を上回り、35.7%を占めて最大部門となっている工業の種類として、最も適切なものを選びなさい。（2016年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 機械工業 | 2. 金属工業 | 3. 食品工業 | 4. 化学工業 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問2 本州の最北端に位置し、北海道の松前半島付近から津軽海峡の海底を通る青函トンネルによって、北海道と陸路で結ばれている県はどこですか。（2018年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 秋田県 | 2. 山形県 | 3. 岩手県 | 4. 青森県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問3 北海道西部に位置する石狩平野は、かつて植物の遺体が十分に分解されずに堆積した「泥炭地」と呼ばれる湿地帯が広がっており、農業には不向きな土地でした。この地域において、他の土地から土を運び入れる「客土」などの土地改良が行われた結果、現在ではどのような農業が盛んに行われていますか。（2024年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------|------------------------|-----------------------|-------------------------|
| 1. 大規模な機械化による水田稲作 | 2. 根柵台地で主流となっている大規模な酪農 | 3. 十勝平野で見られるような大規模な畑作 | 4. 冷涼な気候を活かしたリンゴなどの果樹栽培 |
|-------------------|------------------------|-----------------------|-------------------------|
- 問4 札幌市の中心部で、道路が垂直・水平に交わり区画が整理された「格子状の街路」が採用された背景として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 島根県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 広場を中心に道路が四方八方へ伸びる、中世ヨーロッパの都市計画をそのまま導入したため。 | 2. 自然発生的に形成された集落が、人口増加に伴って地形に合わせて四方に拡大していったため。 | 3. 明治政府の開拓使が、広大な土地を効率的に管理・開発するために計画的な都市建設を行ったため。 | 4. 江戸時代の城下町の構造を引き継ぎ、敵の侵入を防ぐために見通しの良い道路を配置したため。 |
|---|--|--|--|
- 問5 石狩川流域では、かつて植物が完全に分解されずに堆積した「泥炭地」と呼ばれる湿地が広がっていました。この土地を大規模に開発し、農地や市街地として利用するために行われた工夫として、最も適切なものはどれですか。（2021年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 大規模な植林を行い、地中の水分を吸収させて森林面積を拡大させる | 2. 排水路を整備して水を抜き、別の場所から土を運び入れる客土を行う | 3. 地面の下にある岩盤を削り、土地を平坦にしてから地下水を注入する | 4. 周辺の山々から大量の水を流し込み、人工的な湖を作って水運を盛んにする |
|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
- 問6 夏の北海道東部の太平洋沿岸では、濃霧（海霧）が発生しやすいため、8月の日照時間が約127時間にとどまる釧路のように、札幌（約171時間）と比較して日差しが遮られる傾向があります。この濃霧を発生させる要因となる、北海道の東側を南下する寒流の名称を次の中から選びなさい。（2021年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-------------|----------|-------------|
| 1. 対馬海流 | 2. 千島海流（親潮） | 3. リマン海流 | 4. 日本海流（黒潮） |
|---------|-------------|----------|-------------|
- 問7 別海町を含む北海道東部の地域で、稲作や一般的な畑作よりも酪農が著しく発達した地理的な要因は何か。（2025年 青森県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 夏に親潮の影響で海霧が発生しやすく気温が上がらないため、牧草の栽培に適しているから | 2. 火山灰性の土壌が広がっており、水はけが良すぎるため根菜類の栽培に特化しているから | 3. 大都市である札幌に近接しており、新鮮な牛乳を迅速に出荷できる立地条件にあるから | 4. 冬の積雪量が非常に多く、豊富な雪解け水を利用して大規模な水田耕作が可能だから |
|--|---|--|---|
- 問8 北海道における外国人宿泊客数の月別統計を見ると、1月から3月にかけての時期に数値が大きく上昇するという特色があります。この時期に観光客が多く訪れる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 秋の紅葉シーズンに合わせ、新幹線を利用して広大な農地の収穫風景を見学に来るため。 | 2. 本州よりも早く開花するサクラの鑑賞や、春の大型連休を利用した旅行者が増えるため。 | 3. パウダースノーと呼ばれる良質な雪でのスキーや、雪まつりなどの行事を目的に訪れるため。 | 4. 梅雨がなく、ラベンダーなどの花々が満開になる夏の涼しい気候を避暑目的で好むため。 |
|---|---|---|---|
- 問9 地形図における縮尺の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれか。なお、札幌市の北海道大学植物園から南東方向に位置する市役所（地点B）までの実際の距離を1km（1000m）とした場合を想定して答えなさい。（2021年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------|--------------------------------|------------------------------|--------------------------------|
| 1. 5万分の1の地形図では、図上の長さは5cmになる。 | 2. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは2cmになる。 | 3. 5万分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。 | 4. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。 |
|------------------------------|--------------------------------|------------------------------|--------------------------------|
- 問10 北海道の石狩平野などでは、かつて枯れた植物が十分に分解されずに積み重なった、水分が多く農業に不向きな「泥炭地」が広がっていました。この土地で稲作などを可能にするため、他の場所から質の異なる土を運び入れて土壌の性質を改善する土地改良の手法を何といいますか。（2022年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 干拓 | 2. 輪作 | 3. 客土 | 4. 段々畑の造成 |
|-------|-------|-------|-----------|
- 問11 日本の都道府県別の統計において、空港の数が14か所と全国で最も多く、新幹線の駅の数が2か所設置されている都道府県があります。この地域において、これほど多くの空港が設置されている地理的な理由として最も適切なものはどれですか。（2021年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 四方を海に囲まれた島国のような環境であり、本州との往来には航空機を利用する以外の方法がないため | 2. 日本の国土の約2割を占める広大な面積を持ち、道内の主要都市間を効率的に結ぶ交通手段が必要であるため | 3. 険しい山脈が中央部を走っているため鉄道や道路の建設が難しく、空路が唯一の移動手段となっているため | 4. 世界遺産の登録数が国内で最も多く、海外からの観光客を各地の観光地へ直接送客する必要があるため |
|--|--|---|---|
- 問12 北海道の石狩平野において、かつて広範囲にわたって見られた、水分を多く含む植物の遺体が分解されずに積み重なってできた土地を何といいますか。この土地はもともと農業には適さない湿地帯でしたが、客土などの土地改良により現在は大規模な稲作地帯となっています。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|-----------|----------|
| 1. 干拓地 | 2. 泥炭地 | 3. カルスト地形 | 4. シラス台地 |
|--------|--------|-----------|----------|
- 問13 北海道の札幌（日本海側）と根室（太平洋側）の気候を比較したとき、根室で夏の気温があまり上がらず、札幌で冬の降水量が多くなる理由の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2026年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 根室は冬に暖流と季節風の影響を受け、札幌は夏に寒流と季節風の影響を受けるから | 2. 根室は夏に寒流と季節風の影響を受け、札幌は冬に暖流と季節風の影響を受けるから | 3. 根室は冬に寒流と偏西風の影響を受け、札幌は夏に暖流と偏西風の影響を受けるから | 4. 根室は夏に暖流と偏西風の影響を受け、札幌は冬に寒流と偏西風の影響を受けるから |
|---|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 食品工業	北海道では、大規模な経営が行われている農業や盛んな漁業によって得られた豊富な産物を活用した工業が発達しています。他の地方に比べて、地元の農産物や水産物を加工して出荷する食品工業の割合が非常に高いのが特徴です。
問2	答え 4 青森県	本州と北海道の間にある津軽海峡には、世界最長の海底トンネルの一つである青函トンネルが通っています。このトンネルは青森県と北海道を結んでおり、新幹線や貨物列車が走行することで、天候に左右されない安定した輸送ルートとしての役割を果たしています。
問3	答え 1 大規模な機械化による水田稲作	石狩川の下流に広がる石狩平野は、もともとは水分を多く含み農耕に適さない泥炭地でした。明治時代以降、排水路の整備や客土といった大規模な土地改良事業が進められたことで、日本有数の米の生産量を誇る水田地帯へと生まれ変わりました。北海道東部の十勝平野が畑作、根釧台地が酪農の中心である点と区別する必要があります。
問4	答え 3 明治政府の開拓使が、広大な土地を効率的に管理・開発するために計画的な都市建設を行ったため。	札幌は1869年に設置された開拓使によって、何も無い原野から計画的に建設された人工的な都市です。アメリカの都市計画や京都の条坊制を参考に、行政機能や居住区を効率的に配置し、交通の利便性を高める目的で格子状の街路が導入されました。これは、古い歴史を持つ都市が地形や防御上の理由から不規則な街路を持つことが多いのと対照的です。
問5	答え 2 排水路を整備して水を抜き、別の場所から土を運び入れる客土を行う	石狩川流域に広がる泥炭地は、水分が非常に多く農業には適さない土地でした。そのため、開拓にあたっては排水路を設けて湿地の水を抜くだけでなく、他の場所から性質の異なる土を運び入れる「客土（かくど）」という作業が行われました。これにより、もともとの泥炭地は稲作などが可能な広大な農地や、人々が暮らす市街地へと作り替えられました。
問6	答え 2 千島海流（親潮）	北海道の東側の太平洋岸には、北の千島列島方面から冷たい海水が流れてくる寒流の千島海流（親潮）が通っています。夏の湿った空気がこの冷たい海面によって冷やされることで水蒸気が凝結し、大規模な濃霧が発生します。これにより、釧路などの地域では夏の日照時間が短くなります。
問7	答え 1 夏に親潮の影響で海霧が発生しやすく気温が上がらないため、牧草の栽培に適しているから	北海道東部の太平洋側は、夏に寒流である親潮（千島海流）の影響を受けて濃霧（海霧）が発生しやすく、日照時間が不足しがちで気温も低くなります。この気候条件は稲作や畑作には不向きですが、牧草の生育には適しているため、広い土地を生かした酪農が定着しました。
問8	答え 3 パウダースノーと呼ばれる良質な雪でのスキーや、雪まつりなどの行事を目的に訪れるため。	北海道の観光は、かつては夏が主流でしたが、近年は東アジアなどの雪が少ない地域から、良質な雪（パウダースノー）を求めて冬に訪れる外国人が急増しています。1月から3月はスキーやスノーボードといったウィンタースポーツに加え、さっぽろ雪まつりなどの冬のイベントが充実しているため、宿泊客数が多くなる傾向にあります。
問9	答え 4 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。	実際の距離が1km（100,000cm）の場合、2万5千分の1の地形図では、100,000を25,000で割った4cmとして表現される。一方で、5万分の1の地形図では、100,000を50,000で割った2cmとなる。縮尺の分母が大きくなるほど、同じ実際の距離は図上でより短く表示されるという因果関係を理解しておく必要がある。
問10	答え 3 客土	石狩平野などに広がる泥炭地は、水はけが悪く地盤も軟弱であったため、そのままでは稲作に適しませんでした。そこで、他の場所から肥えた土や粘土質の土を運び込む「客土」という大規模な土地改良が行われました。この努力によって、北海道は日本有数の稲作地帯へと発展しました。干拓は海や湖を仕切って水を出し陸地化すること、輪作は同じ土地で時期をずらして異なる農作物を育てることを指します。
問11	答え 2 日本の国土の約2割を占める広大な面積を持ち、道内の主要都市間を効率的に結ぶ交通手段が必要であるため	北海道は日本の総面積の約22%を占めるほど広大であり、札幌や函館、旭川、釧路といった主要都市間の距離が非常に離れています。そのため、移動時間を短縮し、迅速な物流や人流を確保するために、道内各地に多くの空港が整備されました。また、2016年には北海道新幹線が開通したことで、現在は空路だけでなく、新幹線による陸路での本州との接続も強化されています。
問12	答え 2 泥炭地	石狩川流域に広がる石狩平野の低地には、寒冷な気候により植物が完全に分解されず、炭化した状態で堆積した「泥炭地」が広く分布していました。この土地は非常に水はけが悪く、酸性度も高いため農業には不向きでしたが、明治時代以降、大規模な排水路の整備や、外部から良質な土を運び入れる「客土（きゃくど）」といった土地改良を行うことで、日本を代表する稲作地帯へと変貌を遂げました。
問13	答え 2 根室は夏に寒流と季節風の影響を受け、札幌は冬に暖流と季節風の影響を受けるから	太平洋側の根室は、夏に千島海流などの寒流と南東からの季節風の影響で気温が低く抑えられます。一方、日本海側の札幌は、冬に対馬海流などの暖流の上を通る北西の季節風の影響を受けるため、降雪量が多くなります。

- 問1 冬の北海道において、流水が地域の産業や生活に与えている側面について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
- 海面が氷で覆われることで魚の回遊が促進されるため、冬の時期にオホーツク海での大規模な漁船漁業が最も盛んになる。
 - 氷の重みを利用して港の海底を深く削り取る天然の浚渫（しゅんせつ）効果があるため、大型船の入港を助けている。
 - 流水に含まれる豊富な塩分を精製して塩を作る工場が沿岸部に多く建設され、冬の主要な地場産業となっている。
 - 氷を割って進む砕氷船の運航や流水の上を歩く体験など、冬の貴重な観光資源として活用されている。
- 問2 北海道地方の気候の特色について、6月から7月にかけての状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
- 南東から吹き込む湿った季節風の影響により、本州よりも早く本格的な雨期が訪れる。
 - 停滞前線が長期間にわたって停滞するため、年間で最も降水量が多い時期となる。
 - 梅雨の影響をほとんど受けないため、本州以南で見られるような長期間の雨期がはっきりしない。
 - 北東から吹く冷たい風（ヤマセ）の影響で、この時期だけ急激に降水量が増加する。
- 問3 北海道において、スマート農業が他地域に先駆けて積極的に推進されている理由を、土地利用の状況と社会的な背景から考察した説明として最も適切なものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
- 高齢者の割合が全国で最も低く、新しい技術を操作できる若者が過剰に存在するため
 - 広大な経営面積に対して従事者が不足しており、省力化の必要性が極めて高いため
 - 小規模な農地が密集しているため、ドローンを使わなければ肥料が隣地に飛散するため
 - 山間部が多く機械の導入が困難なため、ICTによる遠隔操作が唯一の手段であるため
- 問4 2012年から2016年にかけての、北海道における外国人宿泊者数の推移と傾向について述べた文として、統計的事実に基づいた正しいものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
- 北海道を訪れる外国人宿泊者数は、2012年と比較して2016年には夏季・冬季ともに減少し、日本人観光客中心の構成へと変化した。
 - 外国人宿泊者数は通年で増加傾向にあるが、2016年時点の統計においても、依然として夏季の宿泊者数が冬季を大きく上回っている。
 - 2012年から2016年にかけて、夏季の外国人宿泊者数は順調に増加しているが、冬季については横ばい、または微減の傾向にある。
 - 2012年から2016年にかけて、外国人宿泊者数は夏季・冬季ともに大幅に増加しており、特に冬季の宿泊者数が夏季を上回る傾向が顕著になっている。
- 問5 日本の都道府県の配置において、最北端に位置する北海道は、新潟県や鹿児島県といった他の地域と比較して特有の自然環境を有しています。北海道の大部分を占める気候帯の背景や仕組みについて述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
- 周囲を海に囲まれているため、本州の山梨県などの内陸部よりも夏は暑い。
 - 季節風の影響で一年中雨や雪が多く、夏と冬の気温差がほとんどない。
 - 高緯度に位置するため冬の寒さが厳しく、年間の気温差が非常に大きい。
 - 日本海を流れる暖流の影響を強く受けるため、冬でも比較的温暖である。
- 問6 北海道の農業経営に関する統計を分析すると、経営耕地面積が30ha以上の大規模な農家が6割以上を占める一方で、都府県では1.0ha未満の農家が半数以上を占めるという対照的な構造が見られます。また、北海道では農業を主な仕事とする「主業農家」の割合が約74%に達しています。このように北海道で主業農家の割合が極めて高い理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- 消費地である大都市から遠く離れているため、輸送費を節約するために加工品を専門にする農家が急増したから
 - 1戸あたりの経営規模が大きく、大型機械を用いた効率的な生産によって、農業のみで十分な所得を得ることが可能だから
 - 広大な土地を利用して、小規模な水田では不可能な低コストの米作りを行い、全国の米需要のほとんどを賄っているから
 - 都府県に比べて冬の農閑期が長いため、冬の間だけ工業地帯へ出稼ぎに行く農家が全農家の約8割を占めているから
- 問7 北海道の農業について、生産統計で全国の約78%のシェアを占める「じゃがいも」と、約79%を占める「てんさい」の共通する特徴として最も適切な説明はどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- 亜熱帯の温暖な気候を好む作物である
 - 成長に大量の高温多湿な環境を必要とする作物である
 - 水はけの悪い湿地での栽培に適した作物である
 - 寒冷な気候での栽培に適した作物である
- 問8 北海道において、宿泊施設の延べ宿泊者数や温泉地数が全国的に見て極めて多い水準にある理由と、その観光業の特色について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- 冬季の積雪が厳しいため、観光の主力は夏場の避暑や農業体験に限定されており、季節による宿泊者数の変動が極めて大きい構造となっているため。
 - 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。
 - 歴史的な寺社仏閣が全国で最も多く、それらの伝統的建造物を宿泊施設として再利用する取り組みが全道で進んでいるため。
 - 首都圏からの距離が近いこと、日帰りの観光客を主なターゲットとした小規模な宿泊施設が特定の都市に集中し、効率的な運営が行われているため。
- 問9 札幌市の中心部で、道路が垂直・水平に交わり区画が整理された「格子状の街路」が採用された背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 島根県公立入試 類似)
- 広場を中心に道路が四方八方へ伸びる、中世ヨーロッパの都市計画をそのまま導入したため。
 - 自然発生的に形成された集落が、人口増加に伴って地形に合わせて四方に拡大していったため。
 - 江戸時代の城下町の構造を引き継ぎ、敵の侵入を防ぐために見通しの良い道路を配置したため。
 - 明治政府の開拓使が、広大な土地を効率的に管理・開発するために計画的な都市建設を行ったため。
- 問10 北海道の北東側に面し、千島列島へと連なる海域において、冬季にシベリア沿岸から流水が押し寄せることが大きな特徴となっている海域の名前を選びなさい。 (2024年 石川県公立入試 類似)
- オホーツク海
 - 東シナ海
 - 日本海
 - 太平洋
- 問11 ある都市の統計データにおいて、年平均気温が7.9度、年降水量が1239.2mmであり、夏（7・8月）の気温が約20度と低く、冬の降水量が非常に少ないという特徴が見られました。この都市が位置する地域とその気候の背景について述べた文として正しいものを選びなさい。 (2023年 長野県公立入試 類似)
- 北海道の太平洋側に位置しており、夏は海からの湿った冷たい風などの影響で気温が上がりにくく、冷涼な気候となる。
 - 中央高地に位置しており、標高が高いために年平均気温は低いが、日照時間が長いこと夏の日中の気温は非常に高くなる。
 - 北陸地方の日本海側に位置しており、冬は対馬海流の影響を受けた湿った風が山地にぶつかるため、世界的な豪雪地帯となる。
 - 瀬戸内海沿岸に位置しており、周囲を山地に囲まれているため、年間を通じて降水量が少なく、夏は非常に高温になる。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 氷を割って進む砕氷船の運航や流氷の上を歩く体験など、冬の貴重な観光資源として活用されている。	流氷は船舶の航行を妨げたり漁業を一時的に休止させたりする側面もありますが、一方で北海道を象徴する「観光資源」としての価値が高まっています。網走や紋別での砕氷船ツアー、知床での流氷ウォークなどは、冬の北海道観光の大きな柱となっています。
問2	答え 3 梅雨の影響をほとんど受けないため、本州以南で見られるような長期間の雨期がはっきりしない。	北海道は地理的に緯度が高く、本州以南に長雨をもたらす梅雨前線（停滞前線）が北上してくる頃には勢力が弱まったり、消滅したりすることが多いため、明確な「梅雨」が存在しません。これは北海道の大きな気候の特色の一つであり、この時期の降水量が本州に比べて少ないことは、観光や農業における利点となることもあります。
問3	答え 2 広大な経営面積に対して従事者が不足しており、省力化の必要性が極めて高いため	北海道の農業は、全国平均の約14倍という広大な耕地面積を誇りますが、従事者の高齢化と減少が進行しています。広すぎる土地を限られた人数で管理しなければならないという北海道特有の状況が、自動運転やロボットによる「省力化（労働力を節約すること）」を強く必要とさせており、スマート農業の普及を後押ししています。
問4	答え 4 2012年から2016年にかけて、外国人宿泊者数は夏季・冬季ともに大幅に増加しており、特に冬季の宿泊者数が夏季を上回る傾向が顕著になっている。	2012年から2016年の統計を確認すると、北海道を訪れる外国人宿泊者数は通年で大きく伸びています。特に冬季（12月～3月）の伸びが著しく、2012年の約117.2万人から2016年には約300.9万人へと急増しました。この結果、冬季の宿泊者数が夏季（6月～9月）の宿泊者数を上回るという、北海道観光の新しい特徴が示されています。
問5	答え 3 高緯度に位置するため冬の寒さが厳しく、年間の気温差が非常に大きい。	北海道が属する亜寒帯（冷帯）は、赤道から離れた高緯度地域に特有の気候です。太陽からのエネルギーが少ないため冬は極めて寒冷になりますが、夏は日照時間が長くなるため一定の気温まで上昇します。その結果、夏と冬の気温の差が他の温帯地域よりも顕著に現れるというメカニズムを持っています。
問6	答え 2 1戸あたりの経営規模が大きく、大型機械を用いた効率的な生産によって、農業のみで十分な所得を得ることが可能だから	北海道では広大な経営耕地面積を活かし、大型のトラクターなどを導入した大規模経営が確立されています。労働生産性が高く、1世帯あたりの農業所得を十分に確保できる環境があるため、他の仕事を持つ必要性が低く、結果として主業農家の割合が高まります。一方で都府県は経営面積が狭いため、農業所得だけで生計を立てることが難しく、多くの農家が兼業化（副業的農家など）しています。
問7	答え 4 寒冷な気候での栽培に適した作物である	北海道は梅雨の影響が少なく、夏でも比較的涼しいという気候の特色があります。この条件を活かし、寒さに強い「じゃがいも」や「てんさい」といった作物の栽培が大規模に行われています。じゃがいもは食用やでんぷんの原料、てんさいは砂糖の原料として、全国の食卓を支える重要な農産物となっています。これらは稲作が困難だった寒冷な地域において、重要な基幹作物として発展してきました。
問8	答え 2 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。	北海道には活発な火山活動に由来する温泉地が数多く存在します。これに加えて、国立公園に指定されるような広大な自然環境や、冬の質の高い雪といった独自の資源が観光の目玉となっています。これらが大規模な宿泊施設の整備と結びつき、高い延べ宿泊者数を維持する要因となっています。
問9	答え 4 明治政府の開拓使が、広大な土地を効率的に管理・開発するために計画的な都市建設を行ったため。	札幌は1869年に設置された開拓使によって、何も無い原野から計画的に建設された人工的な都市です。アメリカの都市計画や京都の条坊制を参考に、行政機能や居住区を効率的に配置し、交通の利便性を高める目的で格子状の街路が導入されました。これは、古い歴史を持つ都市が地形や防衛上の理由から不規則な街路を持つことが多いのと対照的です。
問10	答え 1 オホーツク海	北海道の北側に位置するこの海域は、冬になるとアムール川から流れ込む淡水の影響で塩分濃度が低くなった海水が凍り、それが季節風に乗って南下してくる「流氷」が見られることで有名です。日本の周辺海域でこのような大規模な流氷が観測されるのは、この海域特有の現象です。
問11	答え 1 北海道の太平洋側に位置しており、夏は海からの湿った冷たい風などの影響で気温が上がりにくく、冷涼な気候となる。	問題文にある「年平均気温が約8度」「夏が20度前後と冷涼」「冬の降水量が少ない」というデータは、北海道の太平洋側に位置する苫小牧市などの典型的な特徴です。太平洋側では、夏に千島海流（親潮）の上を吹き渡る冷たい湿った空気の影響で、気温がそれほど上がらず冷涼な夏となります。一方で冬は、日本海側で雪を降らせた後の乾燥した空気が流れ込むため、降水量が抑えられます。これに対し、日本海側の金沢などでは冬の降水量が非常に多くなるため、対照的なグラフとなります。

- 問1 1997年に施行された「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律（アイヌ文化振興法）」が、それ以前の政策から大きく転換した点について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. アイヌの人々の居住地を北海道に限定し、伝統的な狩猟や漁業の権利のみを保障する方針に転換した。 | 2. アイヌの人々を日本人に同化させることを目的とし、日本語教育を義務づける方針に転換した。 | 3. アイヌの人々を独自の文化を持つ集団として認め、伝統や言語の振興を支援する方針に転換した。 | 4. アイヌの人々に対して金銭的な補償を行うことで、すべての歴史的課題を解決する方針に転換した。 |
|---|--|---|--|
- 問2 北海道における人口分布の変化について、1950年から2010年までの統計的な傾向を説明した文として正しいものはどれですか。なお、この期間において北海道全体の人口は約430万人から約551万人へ、札幌市の人口は約62万人（1960年）から約191万人へと推移しています。（2016年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 札幌市の人口は1960年から2010年にかけて、北海道全体の人口増加分を補えないほど減少した。 | 2. 道内人口に占める札幌市の割合は、1960年から2010年にかけて一貫して減少傾向にある。 | 3. 北海道全体の人口が緩やかに増加する中で、札幌市の人口はそれを大きく上回るペースで増加した。 | 4. 北海道全体の人口増加に比例して、道内すべての市町村の人口が均等に3倍以上になった。 |
|--|---|--|--|
- 問3 積雪の多い地域の道路で見られる、道路の上方に矢印を掲げた「固定式視線誘導柱」という標識について、その仕組みや必要とされる背景を説明した文として適切なものはどれですか。（2021年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 雪の重みによる路面の変形を確認するため、道路の測量地点を高い位置から特定しやすくする仕組み。 | 2. 道路の端（路肩）の位置を高い場所から指し示すことで、地面が雪に覆われた状態でも車道の範囲を知らせる仕組み。 | 3. 地吹雪による視界不良を防ぐために、道路脇に設置された防雪柵が作動する範囲を運転者に伝える仕組み。 | 4. 路面が凍結しやすい場所に設置され、気温が一定以下になると矢印が自動的に発光してスリップ注意を促す仕組み。 |
|---|--|---|---|
- 問4 日本の国内における旅客輸送の状況について、東京都から北海道への移動を事例として説明した文として、適切なものはどれか。（2022年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 環境負荷を低減する目的から、二酸化炭素排出量の多い航空機の利用が制限されており、鉄道が唯一の公共交通機関となっている。 | 2. 長距離の移動となるため、速達性に優れた航空機の利用が主流となっているが、新幹線の延伸などにより鉄道も重要な役割を担っている。 | 3. 青函トンネルの開通以降、鉄道による輸送コストが大幅に低下したため、航空機から鉄道への利用転換が完全に完了している。 | 4. フェリーを利用した海上輸送が旅客輸送の中心であり、航空機や鉄道は補完的な手段として位置づけられている。 |
|--|---|--|--|
- 問5 日本の乳牛飼育において、飲用として出荷される牛乳の生産地が、千葉県、神奈川県、愛知県といった大都市の周辺に多く見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 大都市の周辺は北海道に比べて土地代が安く、乳牛を放牧するための広大な土地を確保しやすい環境にある。 | 2. 法律によって、飲用牛乳は消費地と同じ地方自治体の中で生産・処理しなければならないと定められている。 | 3. 飲用牛乳は加工品に比べて製品の鮮度を保つことが重視されるため、大消費地に近接した地域で生産されている。 | 4. 飲用牛乳は加工用生乳に比べて重量が軽く、輸送コストがほとんどかからないため、あえて都市部で生産されている。 |
|--|--|--|--|
- 問6 北海道の石狩平野では、かつて激しく蛇行していた石狩川の流路を、人工的に作り替える大規模な治水工事が行われました。このような「河川の直線化」が行われた主な理由と、その後の土地利用の変化について説明した記述として最も適切なものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 内陸部への大型船の通航を可能にし、水上交通を利用した工業地帯を形成するため。 | 2. 水力発電のための貯水池を確保し、周辺に製紙工場を誘致して工業化を進めるため | 3. 川の流れを緩やかにすることで土砂を堆積させ、大規模な果樹園を造成するため。 | 4. 洪水の被害を軽減して水を速やかに海へ流し、泥炭地を排水して農地を拡大するため。 |
|---|--|--|--|
- 問7 日本の各地域における農業産出額の内訳を比較すると、北海道は東北地方などと比較して「畜産」が占める割合が非常に大きいという特徴があります。北海道において、特に根釧台地などを中心に大規模な畜産業が発達した背景として最も適切なものはどれですか。（2019年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 大消費地である東京に隣接しており、新鮮な果物や野菜を毎日トラックで即座に出荷できる立地条件であったため | 2. 広大な土地を活用した大規模経営が可能であり、冷涼な気候が稲作よりも乳牛の飼育に適していたため | 3. 温暖な気候を利用して、一年に二度同じ土地で稲を栽培する二期作を行うよりも効率が良かったため | 4. 急峻な山地が多く機械化が困難なため、人の手による労働集約的な飼育が伝統的に行われてきたため |
|--|---|--|--|
- 問8 石狩川流域では、かつて植物が完全に分解されずに堆積した「泥炭地」と呼ばれる湿地が広がっていました。この土地を大規模に開発し、農地や市街地として利用するために行われた工夫として、最も適切なものはどれですか。（2021年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 排水路を整備して水を抜き、別の場所から土を運び入れる客土を行う | 2. 地面の下にある岩盤を削り、土地を平坦にしてから地下水を注入する | 3. 周辺の山々から大量の水を流し込み、人工的な湖を作って水運を盛んにする | 4. 大規模な植林を行い、地中の水分を吸収させて森林面積を拡大させる |
|------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
- 問9 北海道の地形的特徴について述べた文として、正しいものを次の記述から選びなさい。（2024年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 襟裳岬から北へ向かって飛騨山脈が延びており、道内最高峰の山々が連なっている。 | 2. 石狩低地帯の西側には奥羽山脈が連なり、大規模な稲作地帯を形成している。 | 3. 十勝平野の西端には赤石山脈が位置し、冬の季節風を遮る役割を果たしている。 | 4. 石狩低地帯の東側には日高山脈が南北に走り、地域の地理的境界線となっている。 |
|---|--|---|--|
- 問10 北海道の北部に位置しながら、上川盆地で稲作が盛んに行われている理由について、この地域の気候の特性から説明した文として最も適切なものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 内陸のため夏は比較的气温が上がり、稲の成長に必要な熱が得られる内陸性気候であるため | 2. 季節風の影響で一年中雨が多く、灌漑施設に頼らずに水田に水を引くことができるため | 3. 標高が高いため、夏でも涼しく害虫の被害を受けにくいという気候特性を持っているため | 4. 一年を通じて暖流の影響を強く受けるため、冬でも雪が降らず温暖な気候が続くため |
|--|--|---|---|
- 問11 北海道の自然環境と産業に関連して、網走市や知床半島の沿岸で見られる冬季の自然現象と、その海域の特徴について説明した文として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2025年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 日本海に面しており、暖流の影響で冬も海水温が高いため、流氷が接岸することはない。 | 2. 太平洋に面しており、親潮（千島海流）の影響で一年中流水が漂い、大規模な稲作が行われている。 | 3. オホーツク海に面しており、冬に押し寄せる流氷がプランクトンを運ぶため、豊かな漁場が形成される。 | 4. オホーツク海に面しており、夏になると南東からの湿った季節風によって流氷が再び発生する。 |
|---|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 アイヌの人々を独自の文化を持つ集団として認め、伝統や言語の振興を支援する方針に転換した。	それまでの「北海道旧土人保護法」は、アイヌの人々を日本人の中に同化させることを目指した法律であり、アイヌ独自の文化や言語は否定される傾向にありました。アイヌ文化振興法の制定は、そうした同化政策から、多文化共生社会の実現に向けて、アイヌ独自の民族的誇りや文化的多様性を尊重する方針へと舵を切った重要な転換点となりました。
問2	答え 3 北海道全体の人口が緩やかに増加する中で、札幌市の人口はそれを大きく上回るペースで増加した。	数値データを確認すると、北海道全体では約1.3倍の緩やかな増加であるのに対し、札幌市は50年間で3倍以上に達しています。札幌市という一つの都市が、道全体の人口成長を牽引すると同時に、道内の他の地域から人口を吸収する形で拡大を続けてきたことが読み取れます。これが道内における人口集中の実態です。
問3	答え 2 道路の端（路肩）の位置を高い場所から指し示すことで、地面が雪に覆われた状態でも車道の範囲を知らせる仕組み。	積雪寒冷地における交通の安全を確保するための工夫を問う問題です。地面に設置する通常の反射板や白線だけでは、深い積雪や激しい吹雪（地吹雪）の際に視認できなくなります。固定式の標識を高い位置から吊るすように設置することで、雪の影響を受けずに「ここから先は路肩である」という情報を運転者に提供しています。
問4	答え 2 長距離の移動となるため、速達性に優れた航空機の利用が主流となっているが、新幹線の延伸などにより鉄道も重要な役割を担っている。	日本の長距離旅客輸送では、目的地までの所要時間を短縮できる航空機が大きなシェアを占めています。特に東京から北海道への移動では航空機の利用が圧倒的ですが、北海道新幹線の開業など鉄道網の整備も進められており、天候の影響を受けにくい安定した輸送手段として鉄道も並行して機能しています。他の選択肢にあるような「鉄道への完全な転換」や「航空機の利用制限」といった事実は現在の日本にはありません。
問5	答え 3 飲用牛乳は加工品に比べて製品の鮮度を保つことが重視されるため、大消費地に近接した地域で生産されている。	生乳の生産と流通には、製品の性質に応じた明確な特徴がある。牛乳（飲用）は液体であり、品質を維持するために鮮度が極めて重要視される。そのため、輸送時間を短縮できる大消費地の近郊で生産・処理される傾向が強い。一方、バターやチーズなどの原料となる加工用生乳は、広大な土地を持つ北海道が生産の約9割を占めている。加工品は飲用牛乳に比べて保存性が高く、遠方からの輸送にも適しているため、土地条件の有利な北海道での大規模生産が可能となっている。
問6	答え 4 洪水の被害を軽減して水を速やかに海へ流し、泥炭地を排水して農地を拡大するため。	石狩平野のような低湿地では、かつて河川が激しく蛇行していたため、大雨のたびに氾濫による深刻な洪水被害が発生していました。流路を直線化する工事（ショートカット）を行うことで、増水した河川の水を速やかに海へ排出できるようになり、治水機能が向上しました。これにより、もともと水分を多く含んでいた泥炭地の排水が進み、碁盤目状の区画を持つ大規模な稲作地帯などの農地へと転換することが可能になりました。
問7	答え 2 広大な土地を活用した大規模経営が可能であり、冷涼な気候が稲作よりも乳牛の飼育に適していたため	北海道の農業産出額において畜産の割合が高いのは、土地の広大さと気候条件が関係しています。特に根釧台地は冷涼なため、かつては米作りが困難な「冷害」に悩まされてきましたが、その広さを活かして牧草地を確保し、寒さに強い乳牛を育てる酪農へとシフトしたことで、大規模な食料供給基地となりました。他の選択肢にある「二期作」は温暖な地域、「東京への近接性」は近郊農業の解説です。
問8	答え 1 排水路を整備して水を抜き、別の場所から土を運び入れる客土を行う	石狩川流域に広がる泥炭地は、水分が非常に多く農業には適さない土地でした。そのため、開拓にあたっては排水路を設けて湿地の水を抜くだけでなく、他の場所から性質の異なる土を運び入れる「客土（かくど）」という作業が行われました。これにより、もともとの泥炭地は稲作などが可能な広大な農地や、人々が暮らす市街地へと作り替えられました。
問9	答え 4 石狩低地帯の東側には日高山脈が南北に走り、地域の地理的境界線となっている。	日高山脈は石狩低地帯の東側に位置しており、北海道を東西に分ける大きな壁のような役割を果たしています。他の選択肢に含まれる山脈は、いずれも本州に位置するものです。奥羽山脈は東北地方、飛騨山脈（北アルプス）や赤石山脈（南アルプス）は中部地方の山脈であり、北海道の地形説明としては誤りです。
問10	答え 1 内陸のため夏は比較的気温が上がり、稲の成長に必要な熱が得られる内陸性気候であるため	上川盆地は海から離れた内陸に位置しているため、夏は海沿いの地域に比べて気温が上昇しやすい「内陸性気候」の性質を持っています。稲の結実には夏の一定以上の高温が必要であるため、この気候特性が北海道での稲作を可能にしています。一方で、冬は非常に寒さが厳しく、積雪量が多いことも特徴の一つです。
問11	答え 3 オホーツク海に面しており、冬に押し寄せる流氷がプランクトンを運ぶため、豊かな漁場が形成される。	オホーツク海では、1月から3月にかけて流氷が接岸します。流氷には植物プランクトンが大量に含まれており、春に氷が溶け出すとそれらが一気に増殖するため、魚介類が豊富な好漁場となります。この特異な環境は、知床半島の自然保護や、網走・紋別などの地域の観光資源としても極めて重要です。